

COOL SHARE

「COOL SHARE」とは、

夏の日中、消費電力量の半分はエアコンの使用によるものです。東日本大震災以降、家庭での無駄なエアコン使用を減らすアイデアとして、みんなで集まり“涼をシェアする”クールシェアが始まりました。省エネのために暑さを我慢するのではなく、みんなで楽しく取り組めるアクションを提案していきます。

おうちでクールシェア



各部屋のエアコンを止めて1つの部屋に集まり、家族団らん

まちでクールシェア



外出の際に、熱中症予防も兼ねてお店でひと涼み

公共施設でクールシェア



図書館やコミュニティセンターでひと涼み
※手の消毒や利用者間隔の確保など、施設ごとに設けられたガイドラインに沿った利用をお願いします

自然でクールシェア



公園や川辺など、自然の涼しい場所でひと涼み
みどり溢れる多摩市には公園が沢山あります。日陰で風通しの良い屋外は、絶好のクールシェアスポットです！

詳しくは[多摩市の公園一覧]で検索!



クールシェアで外出の際は「3つの密(密閉・密集・密接)」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒等を意識して、発熱等、風邪の症状がある場合は外出をお控えくださるよう、お願いいたします。

熱中症対策

今年はコロナ禍のもと熱中症被害の多発が懸念されています。熱中症は、気温や湿度が高い環境の中で、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体内の熱を体外へ放散しにくくなり、体温を調節できなくなることで起こります。クールビズで「涼しい恰好をする」「日傘や帽子を使用する」「こまめに水分補給をする」「外の場合は日陰を選んで歩く」などが予防になります。マスクを着用しているときは、特にこまめに水分を補給しましょう。また、環境省熱中症予防情報サイトでは、熱中症の危険性が極めて高くなると予想される前日、または当日に発表される「熱中症警戒アラート」が確認できます。



地球温暖化とは

地球の周りがある、CO₂(二酸化炭素)やメタンなどの「温室効果ガス」は、地球に届いた太陽の熱を逃さない働きをし、私たちが暮らすのに適した温度を保つ役割をしています。

ところが、産業革命以降、人間活動によってこの温室効果ガスが急激に増え、以前より多くの熱が吸収されるようになり、地球の気温が上がっています。これが「地球温暖化」です。

地球温暖化が進むと、気温の上昇に伴い、大型台風、干ばつ、異常高温(熱波)、洪水などさまざまな異常気象が引き起こされ、生態系や農業、食糧、健康など生活全般に影響を及ぼす可能性が懸念されます。

この地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの中で、最も大きな割合を占めているのがCO₂です。

CO₂の多くは石油・石炭・天然ガスなどの化石燃料を使うことにより排出されます。CO₂の排出を抑制することが地球温暖化対策には必要不可欠です。

<p>1 海面上昇 高潮 (沿岸、島しょ)</p>	<p>2 洪水 豪雨 (大都市)</p>	<p>3 インフラ 機能停止 (電気供給、医療などのサービス)</p>
<p>4 熱中症 (死亡、健康被害)</p>	<p>将来の 主要なリスク とは? 複数の分野地域におよぶ 主要リスク 出典) IPCC 第5次評価報告書 WGII</p>	<p>5 食糧不足 (食糧安全保障)</p>
<p>6 水不足 (飲料水、灌漑水の不足)</p>	<p>7 海洋生態系 損失 (漁業への打撃)</p>	<p>8 陸上生態系 損失 (陸域及び内水の生態系損失)</p>

出典) IPCC 第5次評価報告書
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト(<http://www.jccca.org/>)より